

校長通信

第2号 2019. 5. 27

現2年生から、AO入試にも指定校推薦にもテストが実施される！？

【1】はじめに

中間テストも終わりました。皆さん、いかがでしたか？1年生にとっては、初めての高校のテストです。試験期間も長く、どのように試験勉強をすればいいのか、戸惑ったところもあるのではないのでしょうか？

さて、今回の校長通信では、現2年生から大きく入試制度が変わることを受けて、AO入試や指定校推薦も変わる可能性が高いことを取り上げたいと思います。タイトルにも書いたように、今までいわゆる「入試」というテストが無かったAO入試や指定校推薦にも、入試が導入される可能性が高まったという話です。

そして、指定校推薦というものをどのように考えたら良いか、3年生にも役立つ話をしたいと思います。

【2】文科省の「予告」

文科省が、平成29年7月13日に「高大接続改革の実施方針等の策定について」を発表し、その中で、「大学入学者選抜改革について」を発表しました。大きく変わる英語に関する入試と共に、「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」という項目があります。平成33年度入試とは、今の2年生が受験する平成32年度（今では、令和2年度ですね）の入試のことです。そこで、以下のことが「予告」されています。

○ 入試区分については、多面的・総合的な評価の観点からの改善を図りつつ、各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から、次のように変更する。

- ・「一般入試」＜変更前＞⇒「一般選抜」＜変更後＞
- ・「AO入試」＜変更前＞⇒「総合型選抜」＜変更後＞
- ・「推薦入試」＜変更前＞⇒「学校推薦型選抜」＜変更後＞

（文科省 PDF データより切り取り）

つまり、「一般入試」「AO入試」「推薦入試」という名称が、上のように変わるということです。そして、名称だけではなくて、それぞれの入試について、以下に紹介するように内容を変えると「予告」しています。

（1）AO入試について

AO（アドミッション・オフィスの略）入試は、今まで実施要綱に「知識・技能の修得状況に過度に重点をおいた選抜とせず」という項目があったのです。しかし、

大学教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」も適切に評価するため、実施要項上の「知識・技能の修得状況に過度に重点をおいた選抜とせず」との記載を削除し、調査書等の出願書類だけでなく、各大学が実施する評価方法等（※）又は「大学入学共通テスト」のうち、少なくともいずれか一つの活用を必須化する。

という方向に変わると文科省は言っています。つまり、今までほぼ無試験に近かったAO入試にも、大学独自の評価方法か大学入学共通テストの少なくともいずれかを活用することを義務付けたわけです。この「各大学が実施する評価方法等（※）」とは、どのようなものかという点、

※例えば、自らの考えに基づき論を立てて記述させる評価方法（小論文等）、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテスト、資格・検定試験の成績など

と例示しています。また、出願時期も現行の「8月以降」から「9月以降」、そして合格発表時期を「11月以降」にすべきであるとしています。

(2) 推薦入試について

推薦入試とは、簡単に言うと「学校長が推薦書を書く入試」のことで、これには、公に公募する公募推薦も、大学側が学校指定で推薦を求める指定校推薦も含まれます。この推薦入試に、指定校推薦も含まれるかどうか、文科省の関係部署に電話を入れて確認すると、「学校長が推薦書を書く入試、全てが対象ですので、指定校推薦も含まれる」という回答でした。そして、文科省が示す内容を読んでいる限り、公募推薦入試よりも指定校推薦入試を対象にした改革であると判断できます。この入試制度についても、AO入試と同じように、

大学教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を適切に評価するため、実施要項上の「原則として学力検査を免除し」との記載を削除し、調査書・推薦書等の出願書類だけでなく、各大学が実施する評価方法等(※)又は「大学入学共通テスト」のうち、少なくともいずれか一つの活用を必須化する。

そして、各大学が実施する評価方法等も同じものが例示されています。つまり、今までのように、書類を提出して面接を受ければほぼ間違いなく合格していた指定校推薦にも入試という課題が課せられるということです。また、出願時期についても、「11月以降（これは現行通り）」で、合格発表の時期を「12月以降」としています。

【3】なぜ、このように入試を課すのか？

なぜこのような改革を行うのでしょうか？文科省は次のように指摘しています。

- 一部のAO入試や推薦入試について、「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」を問わない性格のものとして受け取られ、本来の趣旨・目的に沿ったものとなっていない面があり、入学後の大学教育に円滑につながっていない。
- 上記の内容面の課題と併せて、AO・推薦入試については、多くの大学で入学者受入れの方針に沿った丁寧な方法で多面的・総合的な評価が実施される一方で、一部において本来の趣旨・目的に沿った丁寧な選抜が行われていなかったり、早期に合格が決定されることにより高等学校教育や本人の学習意欲に悪影響を及ぼしたり、その後の大学教育への円滑な接続に繋がっていないとの問題も指摘されている。

つまり、今、高大接続改革で進められている「学力の3要素」－「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう社会性」－において、前の二つの要素に沿わない面があり、それが大学での勉強に支障が出ている。さらに、早期に進学先が決定するために、その後の高校での勉強に意欲をなくしたり、その結果十分な学力を持って大学に入学することにも支障が出ていると言っているのです。このことを裏付けるデータとして、AO入試の合格発表を10月以前に行う大学が、全体の42%、推薦入試の発表を出願時期と同じ11月に行う大学が、全体の42%を占めます。また、大学入学前に何らかの課題を課す場合が、AO入試で「6.9%」、推薦入試で「8.6%」に達します。なぜ、このように大学が入学前の課題を課すかという、その理由が、

実施の目的として、「学習習慣の維持」(80%)、「高校の復習」(67%)

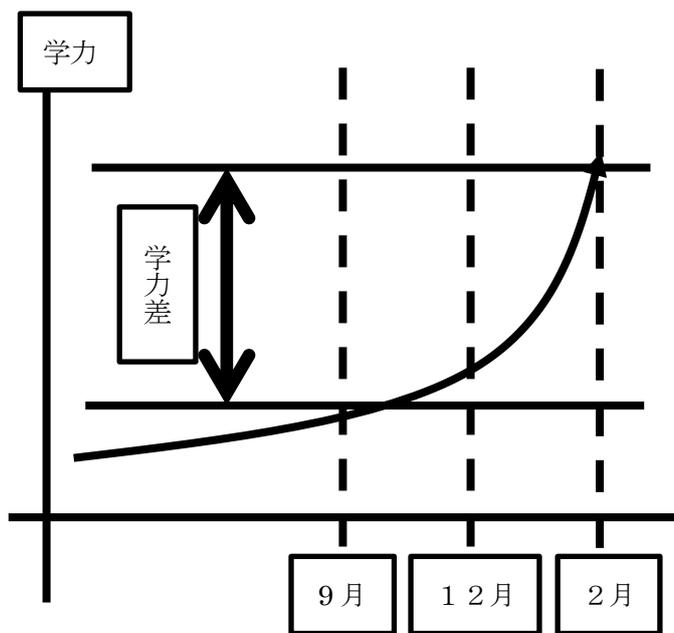
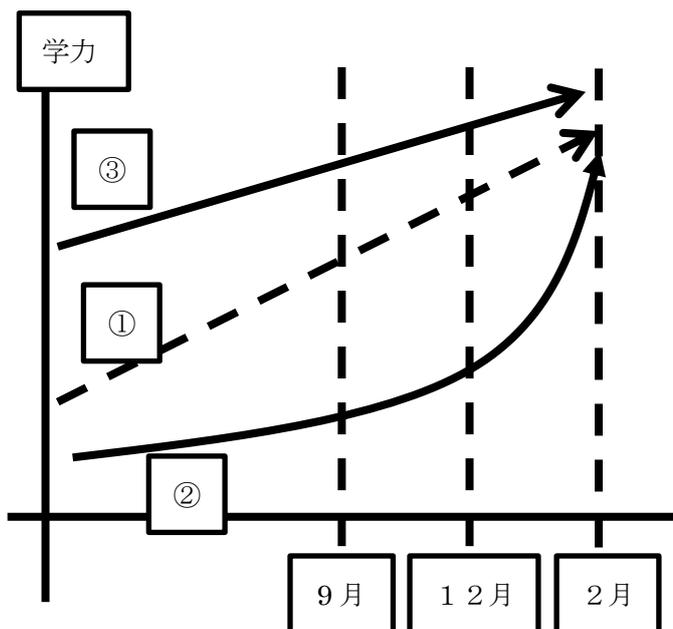
入学前教育の充実に向けた対策として、「意欲喚起の施策」(50%)、「学力アッププログラム」(29%)が重要

と述べています。つまり、AO入試、指定校推薦入試については、「かなり問題がある入試」として文科省は把握しており、大学入学共通テストを開始する年度から、大幅に改革しようとしているのです。だから、その対策として、

早期に合格が決定した後の学習意欲を継続する観点から、実施要項に次のような内容を盛り込む。

- ① 入学前教育について、特に12月以前に入学手続をとった者に対しては、「積極的に講ずる」ことを実施要項に盛り込む。各高等学校においても、大学と連携し学習意欲を維持するための必要な指導を行うよう努める。
- ② 学校推薦型選抜の場合、高等学校による推薦段階だけでなく、合格決定後も、推薦を行った高等学校の指導の下に、例えば、入学予定者に対して大学入学までの学習計画を立てさせ、また、その取組状況等を、高等学校を通じ大学に報告

させるなど、高大連携した取組を行うことが望ましい。



としています。なぜ、このような改革をしなければならないのでしょうか？その要因は、現役受験生の学力の伸び方に原因があると、私は考えています。まず、次の図を見てください。

縦軸が学力、横軸が時期を示しています。多くの生徒・保護者の方々は、受験勉強を続けていると、時間をかければかけるほど、学力が伸びて成果が出ていると思っています。つまり、①の点線のように伸びていくということです。しかし、実際は、違います。現役の受験生の学力は、②のようにしか伸びていきません。勉強すればするほど、学力はついていきます。しかしながら、それが結果として表に現れてくるまでには、相当時間がかかるのです。大体、表に現れてくるのが、早くも12月、多くの現役受験生は、1月頃に伸びてきます。ただし、と注釈を入れさせてもらうのは、この伸びは、通常、2年の3学期、遅くとも2年から3年になる春休みに、本格的に受験勉強を始めた受験生の伸びです。受験勉強のスタートが遅れば遅れるほど、成果が現れてくる時期も遅くなり、「受験本番に間に合わない！」ということが起こります。因みに、浪人生の伸びが③の伸びです。ですから、6月～秋あたりの模試で、現役生の判定は「E」と「D」だらけになるのも当たり前なのです。ですから、模試の判定に振り回されてはいけません。これは、前回の校長通信でもお知らせしたと思います。

さて、本題のAO入試や指定校推薦入試の話です。上の図からもわかるように、AO入試や指定校推薦で合格が決定するのは、9月～11月の時期です。まだまだ学力が伸びていない時期に合格が決まります。その結果、一般入試で合格した生徒との学力差が相当開くこととなります。この学力差が、大学に入学してから問題になります。ですから、入学前学習を大学側は課すのですが、それでも一般入試まで、それこそ必死になって勉強した生徒との学力差は、そう簡単には埋

まりません。この問題を解決するための今回の入試改革であると私は理解しています。

【4】指定校推薦についての私の考え

それでは、最後に指定校推薦についての私の考えを述べたいと思います。結論から言うと、指定校推薦は、あまりお勧めしません。なぜなら、先ほども述べたように大学入学時の学力差があまりにも大きいということがあります。

また、指定校推薦に応募する動機が、「早く合格先を決めたい」ということが優先されている場合は、大学に合格することが第一の目的になって、大学合格後に「何を学びたいか？何を研究したいか？」ということが、二の次になってしまっています。このような場合は、大学入学後に伸びる学生が少なくと大学関係者から聞くことがあります。結局のところ、

「大学合格は早く決めたが、就活段階でめっちゃめっちゃ苦労する」

という問題先送りになってしまうケースが多いのです。

そうすれば、どんなケースが、指定校推薦に適しているのでしょうか？

私は、大学と生徒の「相思相愛関係」だと考えています。つまり、大学側は、アドミッションポリシーに則って、入学してほしい生徒の資質・能力を提示します。その「求愛（応募）」にこたえるように、生徒側は、「自分が大学に入学に学びたいこと、研究したいことが、その大学でないとできない。唯一無二だ！」という状態です。こういう場合は、生徒も大学入学後に学びたいことが実現できるので、一生懸命取り組み、伸びていくと思います。今年も指定校推薦一覧が、配られるでしょう。その時に、自分が絶対合格したい第一志望の大学・学部・学科があれば、応募するのも良いでしょう。でも、「どこか、無いかな・・・」と一覧から探しているようでは、ダメだと思います。もしかしたら、苦しい受験勉強からの「逃げ」の気持ちが、そんな行動の裏に潜んでいるのかもしれないですね。

大学をどのように選択していくか、とても大事なことです。私が前に校長をしていた〇〇高校で、国公立大学の公募推薦に合格した生徒のことを紹介します。その生徒は、2年生の秋まで、

僕は、自分が2年の2学期頃まで「とりあえず関関同立か産近甲龍に行けたらいいや」という風に、志望大学を大学の名前からだけで選んでいました。

と合格体験記に書いていました。しかし、こんな考えで、果たして自分が大学に入ってから学びたいことができるのだろうかと自問自答します。そして、全国の大学を調べ、自分のやりたい研究をしている教授がいる大学を見つけたのです。そして、その大学の公募推薦に応募します。試験は、面接と小論文ですが、小論文は、自分が希望する学問の専門分野の英文、面接はいわゆる専門分野のプレゼンテーションと口頭試問です。とにかく、英語の先生と専門分野の先生に個別指導をみっちり受けて合格を勝ち取りました。最後にこの生徒は、次のように合格体験記を締めくくっています。

志望校を決めるのは難しいことだと思いますが、僕は実際に〇〇まで大学を見に行きこのような決意ができたので、これから受験する人にはしっかり自分の意思を持ち、妥協せず夢に向かって欲しいと思います。

生徒の皆さんの中には、そして保護者の方々の中にも、「大学を名前で選ぶ」ことをされていませんか？けれど、大事なことは、大学に入学してから「何を学びたいか？何を研究したいか？」です。それが一番大事です。

指定校推薦の話とは少しずれますが、理系の大学に進学を希望している人は、まずは国公立大学をお勧めします。なぜか？それは私立大学と違って、教育・研究体制が全然違うからです。理系の学部は、どれだけ実験研究できるかが第一に求められます。その時に重要なのが、学生／先生の比率です。これをS／T比と言います。関関同立レベルでは、大体、「40前後」です。つまり、大学の先生一人に対して学生40人です。「なんや、高校と同じクラスの人数や」と思わないでくださいね。■■高校のS／Tは、「12」です。■■高校は、総合学科なので、普通科の学校より先生が多く配置されています。普通科の学校でも、大体S／Tは「20前後」で関関同立の半分程度です。国公立の大学では、多くて20前後で、少ないところでは一けた台というところがあります。これだけの教育・研究体制に差があるのです。

それともう一つ。国公立大学は、理系の募集がかなり多いということ。さらに、同じ工学部・農学部などの名称がついていても、その中身は、大きく違うことが挙げられます。先ほどの生徒のように、実際に大学まで出かけて、自分の行きたい大学を探すということが重要です。

【5】最後に

さて、今回の通信のまとめです。

- ★指定校推薦やAO入試にも試験が課される可能性が高いこと。そのため、「知識・技能」に加え、「思考力・判断力・表現力」という真の実力が求められること
- ★指定校推薦は、早く決めたいと選ぶ限り、お勧めできないこと。お勧めできるのは、大学との相思相愛関係のみであること。
- ★大学選びは、名前ではなく、本当に自分の学びたいこと・研究したいことが、実現できる大学を選ぶこと。
- ★特に理系志望の生徒は、国公立大学をお勧めすること。なぜなら、教育研究体制が充実しているから。以上です。